



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 S & J 株式会社 上場取引所 東
コード番号 5599 URL <https://www.sandj.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 三輪 信雄
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理部長 （氏名） 経田 洋平 TEL 03 (6205) 8500
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	1,104	21.5	278	47.8	280	48.2	193	48.9
2025年3月期中間期	908	27.4	188	53.3	189	63.2	129	70.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	34.87	33.12
2025年3月期中間期	23.07	21.99

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	3,028	2,165	71.5
2025年3月期	2,705	2,003	74.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,165百万円 2025年3月期 2,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2025年11月12日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,519	29.7	519	23.4	521	23.1	352	13.9	63.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	5,627,200株	2025年3月期	5,627,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	63,163株	2025年3月期	54,623株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	5,543,716株	2025年3月期中間期	5,627,177株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年11月13日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復傾向が見られたものの、円安等による物価高の継続などに加えて、アメリカの関税政策をはじめとする国際経済環境の不透明感から、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する情報セキュリティ業界を取り巻く環境としては、ランサムウェア等によるサイバー攻撃が業界や業種、企業規模の大小などにかかわらず頻発しており、大手企業における被害も散見されます。このような状況により、情報セキュリティ対策の必要性や重要性が強く認識されていることなどから、情報セキュリティ関連のIT投資は企業規模や業種・業界を問わず増加傾向にあり、需要は比較的堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当中間会計期間の業績につきましては、監視サービス等の新規案件を着実に獲得したことに加え、セキュリティ評価支援サービスの提供やセキュリティインシデントへの対応等を実施いたしました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高1,104,328千円（前年同中間期比21.5%増）、営業利益278,445千円（同47.8%増）、経常利益280,539千円（同48.2%増）、中間純利益193,285千円（同48.9%増）となりました。

なお、当社はサイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、サービス区分別の状況は、次のとおりであります。

① SOCサービス

既存顧客への監視・運用サービスを継続して提供したことに加え、新規顧客に対するKeepEye等の新規案件の獲得によりSOCサービスの売上高は843,303千円（前年同中間期比20.8%増）となりました。

② コンサルティングサービス

セキュリティ評価支援サービスの提供やセキュリティインシデントへの対応により、コンサルティングサービスの売上高は261,024千円（前年同中間期比24.0%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は3,028,237千円となり、前事業年度末に比べ322,533千円増加いたしました。

流動資産は2,604,757千円となり、前事業年度末に比べ362,214千円増加いたしました。これは主に流動資産のその他に含まれる前払費用が27,257千円、自己株式の取得に伴い買付資金として預託していた流動資産のその他に含まれる預け金が14,030千円減少したものの、現金及び預金が389,985千円、仕掛品が18,570千円増加したことによるものであります。

固定資産は423,480千円となり、前事業年度末に比べ39,680千円減少いたしました。これは主に減価償却費等により有形固定資産が39,861千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は863,128千円となり、前事業年度末に比べ161,290千円増加いたしました。

これは主に未払法人税等が21,981千円、ストック売上の受注が堅調に推移したことにより契約負債が83,700千円、受注損失引当金が7,042千円、流動負債のその他に含まれる未払金が4,556千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が43,942千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は2,165,109千円となり、前事業年度末に比べ161,243千円増加いたしました。これは中間純利益の計上等により利益剰余金が169,781千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.5%（前事業年度末は74.1%）となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ389,985千円増加し、2,387,930千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は434,251千円(前年同中間期は147,717千円の獲得)となりました。主な減少要因としては、棚卸資産の増加額18,570千円、法人税等の支払額69,440千円であり、主な増加要因としては、税引前中間純利益280,539千円、減価償却費43,375千円、未払消費税等の増加額43,942千円、契約負債の増加額83,700千円、その他の増加53,575千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,513千円(前年同中間期は232,098千円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出3,513千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は40,752千円(前年同中間期は該当なし)となりました。これは、自己株式の取得による支出54,792千円、自己株式の処分による収入14,040千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年10月22日公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2026年3月期の通期業績予想につきましては、業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,997,944	2,387,930
売掛金	139,159	137,087
仕掛品	687	19,258
その他	104,751	60,480
流動資産合計	2,242,543	2,604,757
固定資産		
有形固定資産	380,022	340,160
投資その他の資産	83,138	83,319
固定資産合計	463,161	423,480
資産合計	2,705,704	3,028,237
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,930	12,453
未払法人税等	78,996	100,978
契約負債	556,232	639,932
受注損失引当金	—	7,042
その他	54,677	102,720
流動負債合計	701,837	863,128
負債合計	701,837	863,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,629	441,629
資本剰余金	580,479	580,479
利益剰余金	1,041,968	1,211,749
自己株式	△60,211	△68,749
株主資本合計	2,003,866	2,165,109
純資産合計	2,003,866	2,165,109
負債純資産合計	2,705,704	3,028,237

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	908,825	1,104,328
売上原価	473,224	519,338
売上総利益	435,601	584,989
販売費及び一般管理費	247,169	306,544
営業利益	188,431	278,445
営業外収益		
受取利息	168	1,956
受取手数料	—	677
雑収入	680	7
営業外収益合計	848	2,640
営業外費用		
支払手数料	—	547
営業外費用合計	—	547
経常利益	189,279	280,539
税引前中間純利益	189,279	280,539
法人税、住民税及び事業税	59,658	90,875
法人税等調整額	△222	△3,621
法人税等合計	59,435	87,253
中間純利益	129,844	193,285

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	189,279	280,539
減価償却費	18,346	43,375
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	7,042
受取利息及び受取配当金	△168	△1,956
売上債権の増減額 (△は増加)	68,428	2,071
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,808	△18,570
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,236	522
前渡金の増減額 (△は増加)	△88	2,935
未払金の増減額 (△は減少)	2,150	4,556
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,695	43,942
契約負債の増減額 (△は減少)	△56,421	83,700
その他	△27,044	53,575
小計	182,215	501,735
利息及び配当金の受取額	168	1,956
法人税等の支払額	△34,667	△69,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,717	434,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△232,098	△3,513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,098	△3,513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△54,792
自己株式の処分による収入	—	14,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△40,752
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△84,381	389,985
現金及び現金同等物の期首残高	2,119,879	1,997,944
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,035,498	2,387,930

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、サイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得にかかる事項について決議し、自己株式51,000株の取得を行いました。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2025年4月25日をもって取得を終了しております。

この自己株式の取得及び単元未満株式の取得により、当中間会計期間において、自己株式が54,792千円増加しましたが、ストックオプションの権利行使及び譲渡制限付株式の割当により自己株式が46,254千円減少したため、当中間会計期間末において自己株式が68,749千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。